

「支援者を対象とする地域連携、人材育成、保護者支援等に関する調査」

札幌市自閉症・発達障がい支援センター おがる

1. 調査の目的

札幌市自閉症・発達障がい支援センターでは、発達障がいのある児・者支援における地域課題の検討に資するため、発達障がいに関わる直接支援や相談といった間接支援に携わる者を対象に、地域連携、人材育成、保護者支援、当センターの利用状況等に関する実態調査を行った。

なお本調査報告は「生活介護・入所施設・グループホームなど」の所属と回答したグループの集計結果を記載する。

2. 調査概要

(1) 実施機関

2019年5月～同年11月まで

(2) 対象者

発達障がいに関わる直接支援や相談といった間接支援に携わる次の者

ア 成人期の支援者

・生活介護・入所施設・グループホームなどに所属する者：成人期と呼称

※ 除外対象

・一般、市民、保護者、当事者のいずれかの記載がみられた回答は除外した

(3) 調査方法

当センターが主催・共催する研修会や調査協力を得られた研修会で調査用紙を配布無記名で回答を求め、調査配布時に目的や集計方法、結果報告について説明

(4) 回答件数

91件（成人期に所属する調査協力者数）

(5) 調査実施主体

札幌市自閉症・発達障がい支援センター

(6) 主な質問項目

回答者の属性、支援者が困った時の相談先について、人材育成に関わる研修内容について、保護者支援の方法について、当センターの利用状況について

3 調査結果の概要

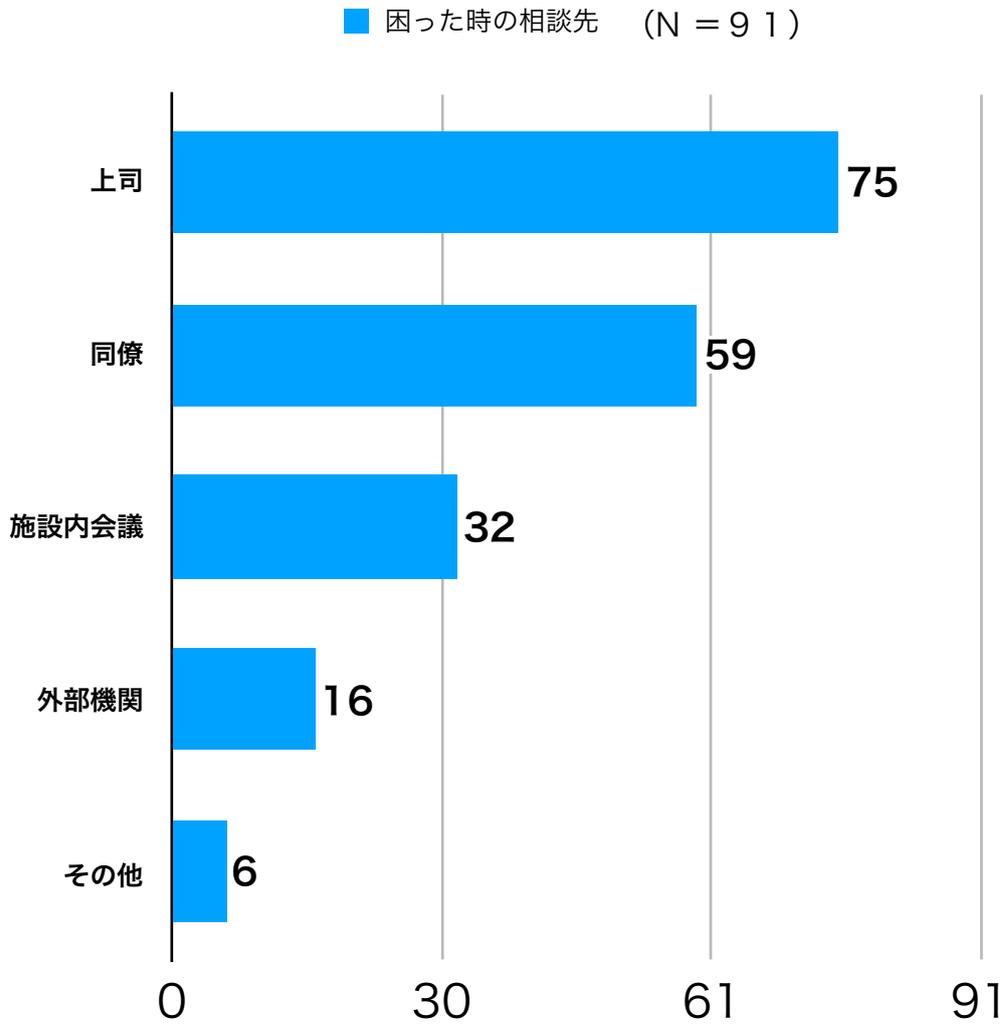
(1) 回答者の属性

◆ 成人期（生活介護・入所施設・グループホームなどに所属する者）：91名

(2) 支援者が困った時の相談先について

Q1 普段の支援において困った時はどちらに相談しますか

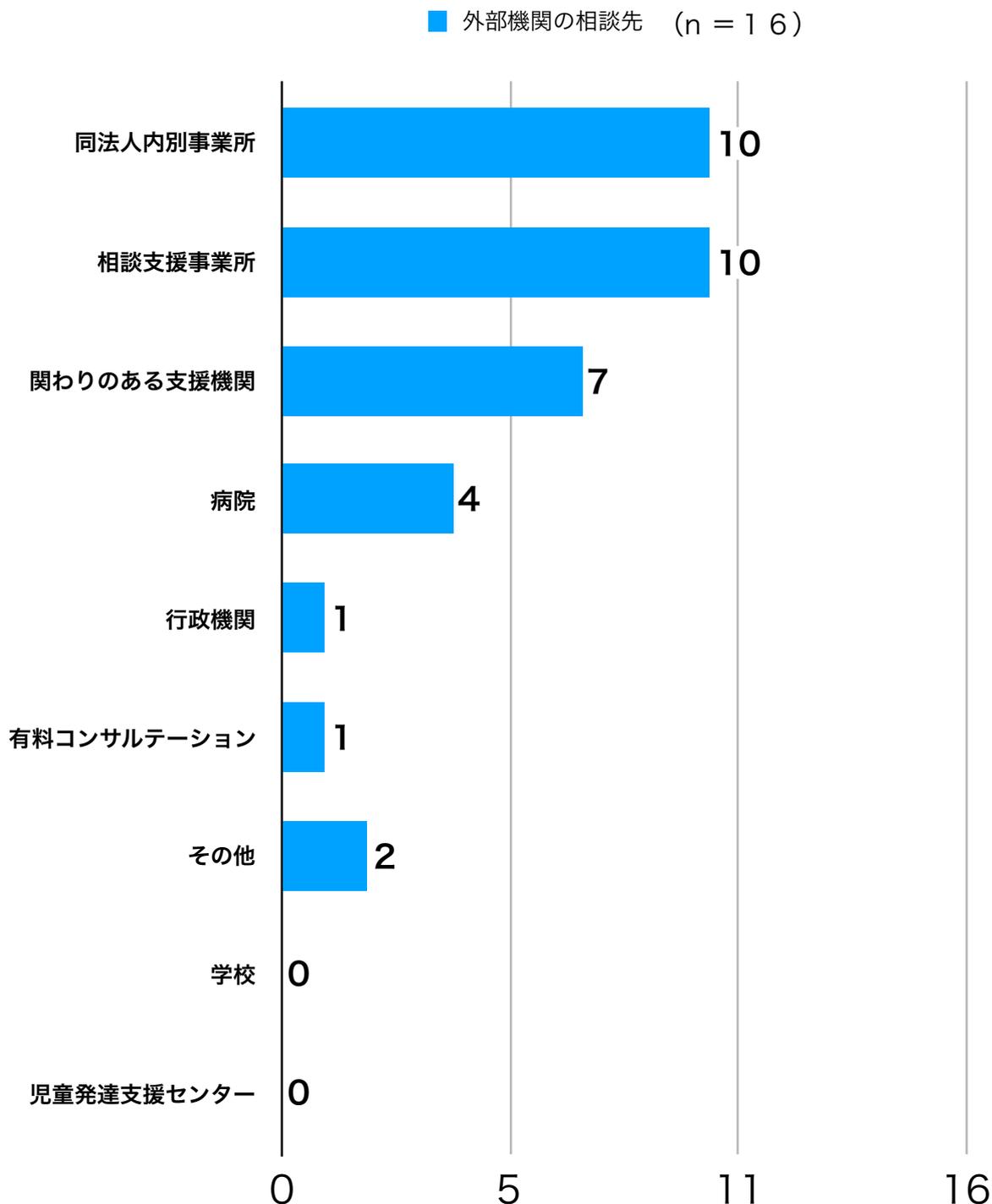
あてはまるものすべて選択する形式の設問である。結果は「上司」(82.4%)、「同僚」(64.8%)、「施設内会議」(35.2%)、「外部機関」(17.6%)、「その他」(6.6%)となり、「外部機関」に相談するという回答は2割程度であった。



Q2 どちらの外部機関に相談しますか (Q1にて「外部機関」に丸をつけた方のみ)

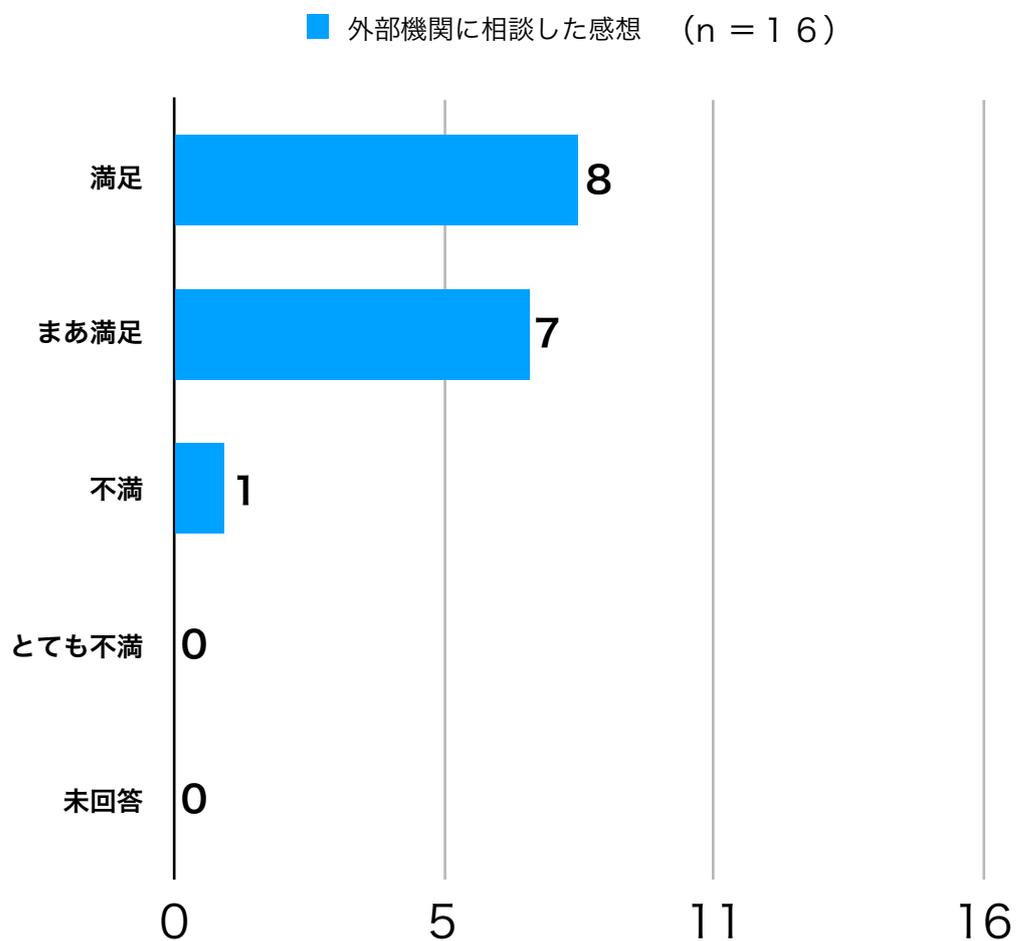
あてはまるものすべてを選択する形式の設問である。結果は、「同法人内別事業所」(62.5%)、「相談支援事業所」(62.5%)、関わりのある支援機関(43.8%)、「病院」(25.0%)、「行政機関」(6.3%)、「有料コンサルテーション」(6.3%)、「その他」(12.5%)「児童発達支援センター」(0%)、「学校」(0%)、となり、「同法人内別事業所」が外部機関として最も多く利用されていた。

「その他」には、同業の知人や当センターなどと記載されていた。



Q3 外部機関に相談した感想をお答えください (Q1にて「外部機関」に丸をつけた方のみ)

あてはまるものを1つ選択する形式の設問である。結果は、「満足」(50.0%)、「まあ満足」(43.8%)、「不満」(6.3%)、「とても不満」(0%)、「未回答」(0件)と、9割以上が「満足」もしくは「まあ満足」と回答していた。

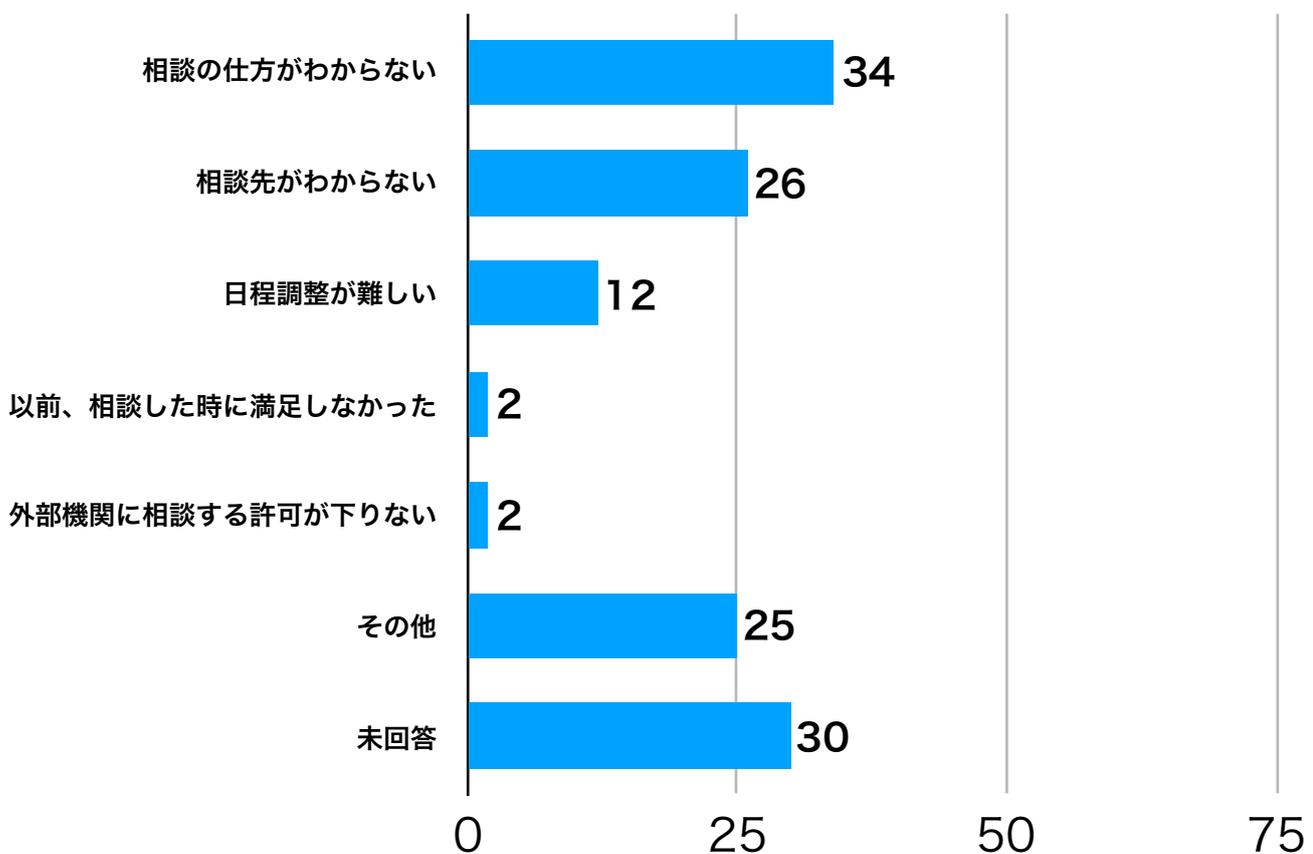


Q4 外部機関に相談しない（できない）理由をお答えください（Q1にて「外部機関」に丸をつけなかった方のみ）

あてはまるものすべて選択する形式の設問である。結果は「相談の仕方がわからない」（46.7%）、「相談先がわからない」（34.7%）、「日程調整が難しい」（13.3%）、「以前、相談した時に満足しなかった」（5.3%）、「外部機関に相談する許可が下りない」（0%）、「その他」（17.3%）、「未回答」（17件）となり、相談方法や相談先がわからないことが外部機関に相談しない（できない）理由の多数を占めていた。

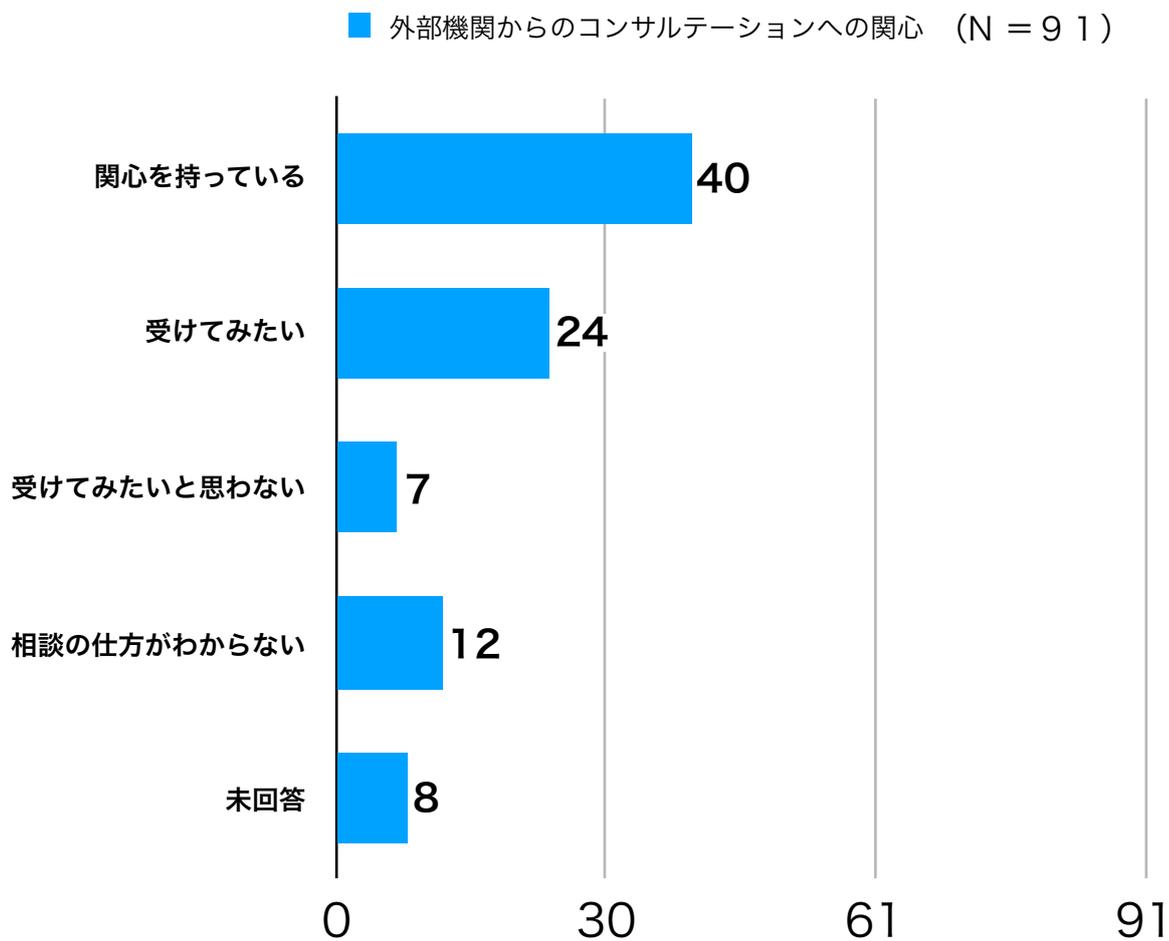
「その他」の回答には、会議などで解決している、外部からの意見はありがたいが利用者の方を見ていないことで不安がある、外部に相談する必要がない、外部と接する機会が少ないなどと記載されていた。

■ 外部機関に相談しない（できない）理由（n = 75）



Q5 外部機関からのコンサルテーション（事業所訪問によるケース検討等）への関心をお持ちでしょうか。（A～Dのうち当てはまるものを一つ○で囲んでください）

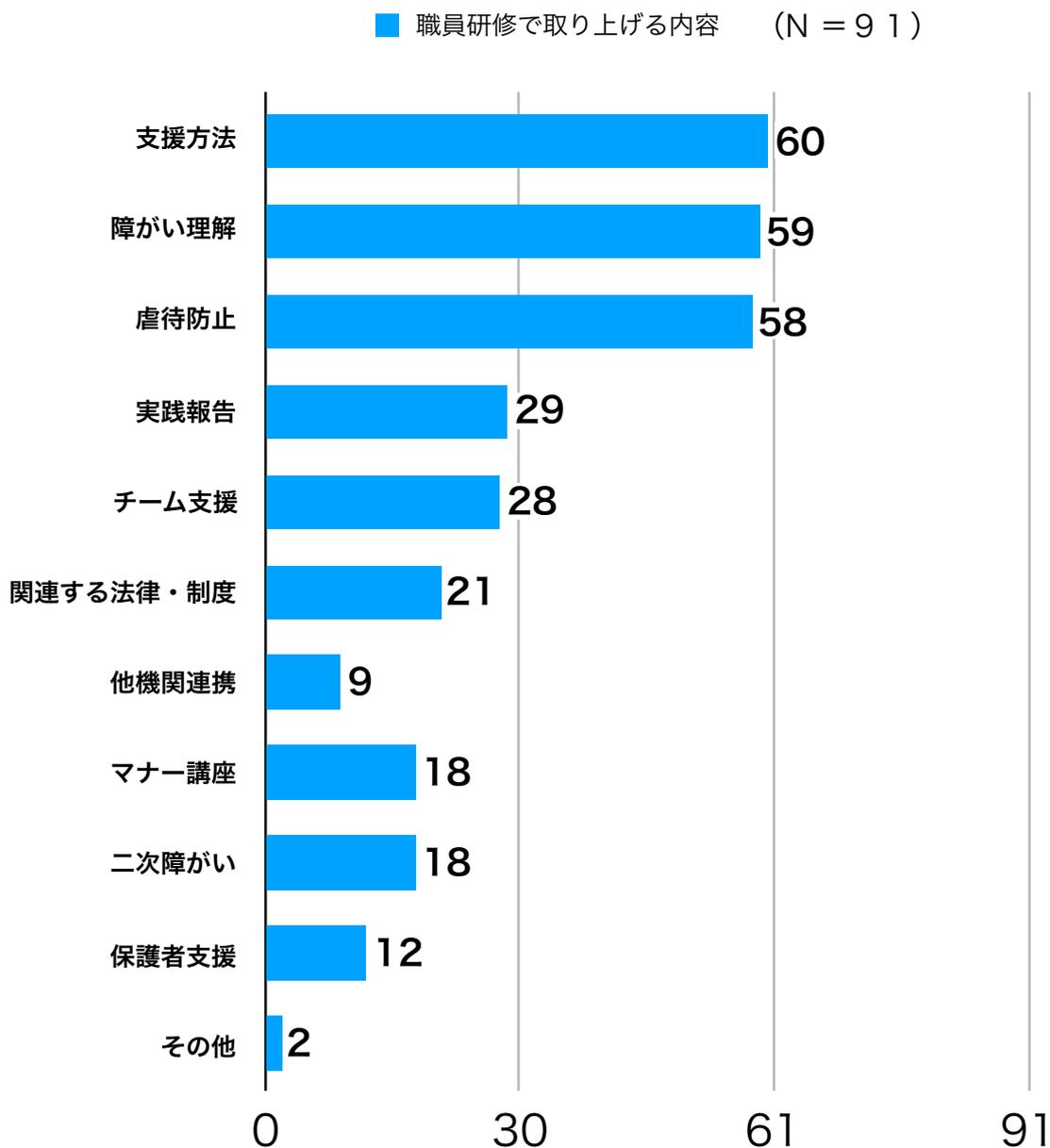
あてはまるもの1つを選択する形式の設問である。結果は「関心を持っている」（44.0%）、「受けてみたい」（26.4%）、「相談の仕方がわからない」（13.2%）、「受けてみたいと思わない」（7.7%）、「未回答」（8件）となり、3割近くが「受けてみたい」との回答をしていた。



(3) 人材育成に関わる研修内容について

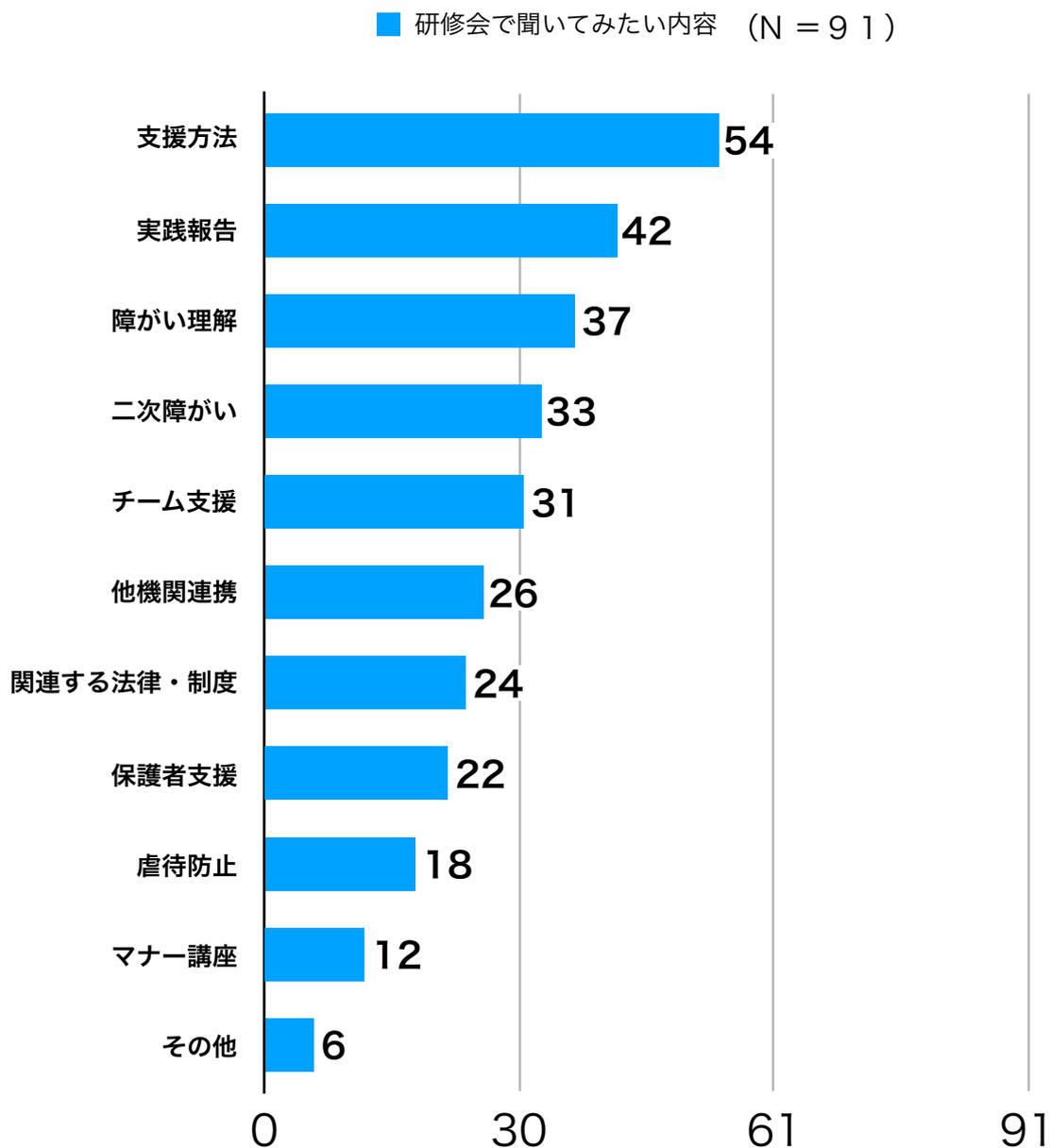
Q6 職員研修では、どのような内容を取り上げていますか

あてはまるものすべて選択する形式の設問である。結果は、「支援方法」(65.9%)、「障がい理解」(64.8%)、「虐待防止」(63.7%)、「実践報告」(31.9%)、「チーム支援」(30.8%)、「関連する法律・制度」(23.1%)、「他機関連携」(20.9%)、「マナー講座」(19.8%)、「二次障がい」(19.8%)、「保護者支援」(13.2%)、「その他」(2.2%)となり、職員研修では上述の3つのテーマが取り上げられていた。「その他」の詳細については未回答のため不明である。



Q7 研修会で聞いてみたい内容を教えてください

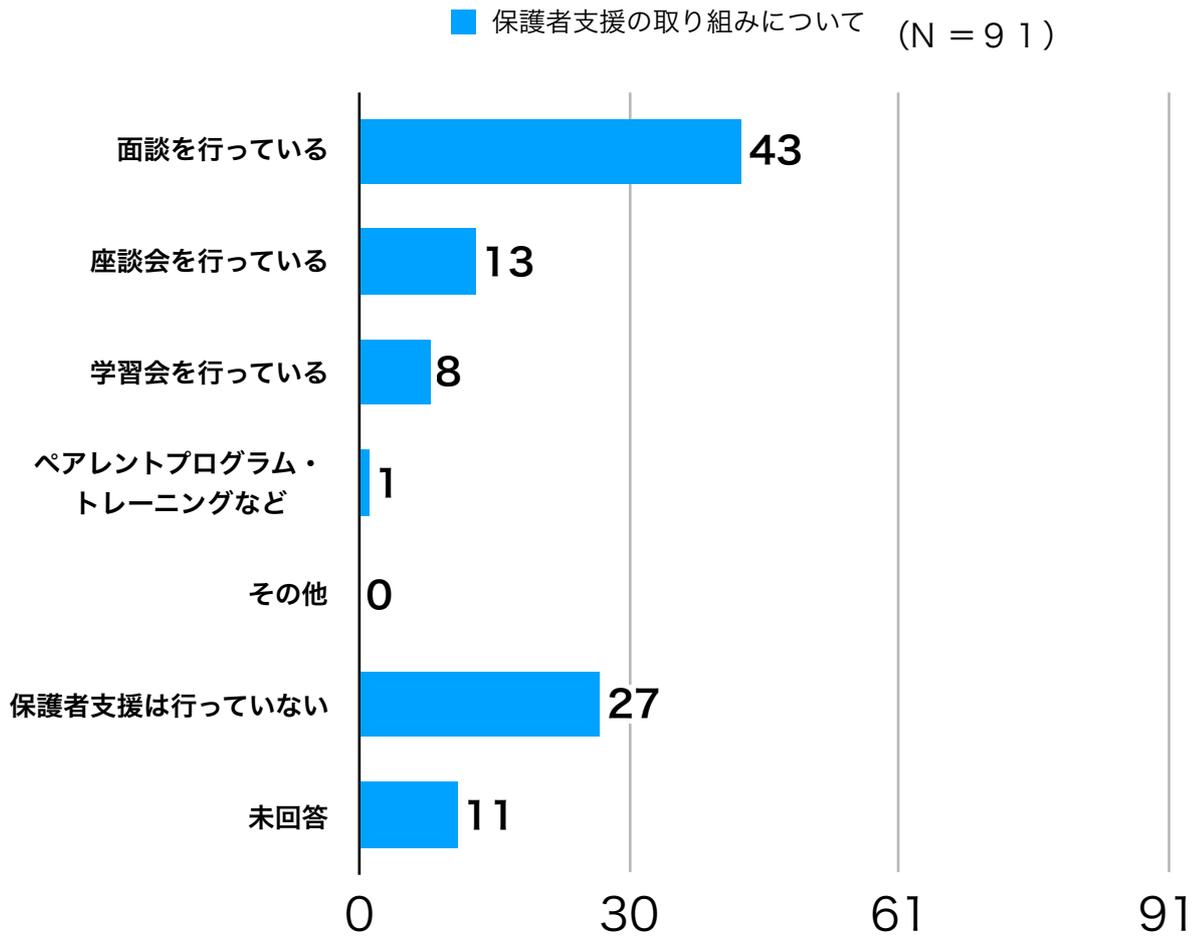
あてはまるものすべてを選択する形式の設問である。結果は、「支援方法」(59.3%)、「実践報告」(46.2%)、「障がい理解」(40.7%)、「二次障がい」(36.3%)、「チーム支援」(34.1%)、「他機関連携」(28.6%)、「関連する法律・制度」(26.4%)、「保護者支援」(24.2%)、「虐待防止」(19.8%)、「マナー講座」(13.2%)、「その他」(6.6%)となり、研修会で聞いてみたい内容として5割を超えていたのは「支援方法」のみで、次いで「実践報告」多数であった。「その他」には、ハラスメント関係、ABA、行動制限について、他機関について学ぶ、記録の書き方などと記載されていた。



(4) 保護者支援の方法について

Q8 保護者支援の取り組みについてお答えください

あてはまるものすべて選択する形式の設問である。結果は、「面談を行っている」(43.3%)、「座談会を行っている」(14.3%)、「学習会を行っている」(8.8%)、「ペアレントプログラム・トレーニングなど」(1.1%)、「保護者支援は行っていない」(29.7%)、「その他」(0件)、「未回答」(11件)となり、保護者支援として大多数が「面談を行っている」と回答していた。

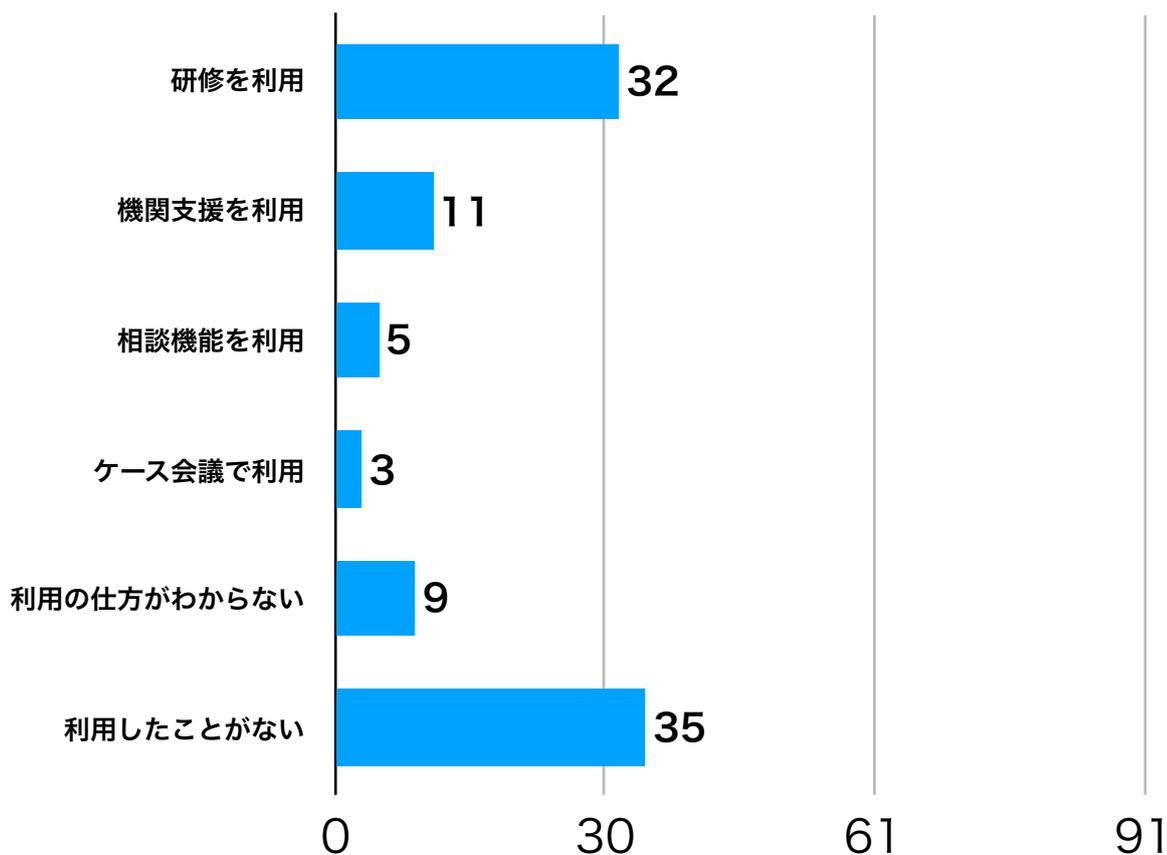


(5) 当センターの利用状況について

Q9 これまでに（アンケート回答時の研修を除き）当センターの利用内容についてお答えください

あてはまるものすべてを選択する形式の設問である。結果は、「研修を利用」（35.2%）、「機関支援を利用」（12.1%）、「相談機能を利用」（5.5%）、「ケース会議で利用（3.3%）」、「利用の仕方がわからない（9.9%）」、「利用したことがない」（38.5%）となり、当センターの利用方法として「研修を利用」が最も多数であった。

■ 当センターの利用状況について (N = 91)



Q10 当センター作成の個別支援計画様式（みらくる）をご存知ですか

あてはまるものを1つ選択する形式の設問である。結果は、「使っている」（5.5%）、「使っていない」（41.8%）、「興味がある」（45.1%）、「使い方がわからない」（4.4%）、「未回答」（3.3%）となり、半数程度が「使っていない」と回答していた。

